



本草綱目譯說

三

十二

二
937
3



本草綱目草部目錄第十二卷

草之一 山草類上三十一種

甘州

黃耆

人參

沙參

薺菜

桔梗

長松

黃精

萎蕤

鹿茸
姜地附

知母

肉苁蓉

列當

鎖陽

赤箭 天麻

木

狗脊

貫衆

巴戟天

巴戟附

遠志

百脉根

淫羊藿

仙茅

玄參

地榆

丹參

紫參

王孫

紫草
三七

白頭翁

白及

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 紫草, 白頭翁, and 白及.]

本草綱目譯說卷十二



蘭山小野先生口授

門人

石田熙筆受

草之一 山原類上二十一種

耳叶 古名アコキ 和名アコキ 今通名耳叶

大和 倭方。クキリシイヤ。或云

一名 主人 種香 仙方 偷蜜珊瑚 和名 大噉 事類 類名

耳草ニ同名アリ煎茶ノ異名ニ耳草ト云薺ノ耳草ト云移草ハ移手診曰地名ナリ又耳藤一名耳叶ニ字通

船上ヨリ来 数種アリ 大抵南京福列ヲ上品ト云之

別 福列 南京上品ニ小ニホト云テ外及縦ニ小綴文アルヲ

上ト云之ヨリ堅クナルモノヲ擇テムナリ外及

薄ク内色深黄色ナルモノ係ニ根ノ形ノ大小拘ラス

リニタイナリ
クメヤ

豆耳ノ不好

及厚ク肉色淡白乾處ナルモノ小品之腐テ黒色ヲ帯ル
モノ至テ小品之存経途原田中心黒石有存勿用ト業
肆ニ至テ細キモノヲワラ耳ヲト云又木桿様ト云下品
ノ稱之又朝鮮ヨリ来ルモノアリ。紅毛ヨリ来ルモノアリ
紅毛ハ大ニ切コグテ径一寸四五分ニアリ集解安南
耳叶大者如柱上人以架屋ト此ノ類之總テ密國ノモノハ大ニ
延喜式詔國葉ヲ負スル目錄常陸陸奥出羽三國
ヨリ耳叶ヲ取スルアリ今ハ三國共ニ自然生ノモノナシ今
世種ハ耳叶二種アリ南京福州之當時南京ナシ皆福
州之福州ハ甲斐國山梨郡上於曾村ニ伊兵衛ト與傳ト云
右兩家分テ持傳ヲ由来未詳此種分處ニハヒロコリ

京師良莠種柳家等ニアリ別テ関東ノハ出地ヨリ砂多
ク石少ニ故ニ發芽シテ肥大ニ生ノトキハ根及紫赤色
肉ハ黄色ニ苗ハ直立シテ二三尺ナルモノハ白藤葉ノ如シ
毛茸アリ葉間ニ花アリ小莖ヲ抽共先ニ莖生ス時ニ色
淡紫形豆ノ花ノ如ク花ハ莢ヲ結ク小豆莢ノ如ク十條
許リ一処ニ積リ着ク此實ヲトリテ時ハ最ニ易シ實形
赤小豆ノ如ク微ク扁ニ稔保年中莖少許ニ條街ノ葉
肆南京耳叶ノ櫃ヲヒラキニ新キ莢アリコレヲ時テ
二本生スニ家ハ分テ種ニ西家ハ増ニ種ニ時故ニ
根口ツシテ枯ルモノ南京種ハ葉ノ形微ク圓リ外ハ同シ。

豆耳

治虛勞自汗補肺
毛蒼男年去肌推及
訪經之痛 之系

綿貫茶木貫茶ノ分ナリ根軟ナルハ綿貫茶之堅キハ
木貫茶之集解北名トスルモノハ誤之綿貫茶ノ方ハ葉
形槐葉ノ如シ葉托ヲハフ然レテ葉生ニ非ス葉葉ノ直
立スルヲ融ハス京師北山ニマリ下品之根ニ苦味アリテ苗
草シ不入常用和産上品ハ冬浮下野日光信濃戸原山
以上三國上品然レテ京肆ニナシ尤綿貫茶之花實六ニ
耳叶似タリ淡黄色ト淡紫色ノ二種ナリ京師ノハ
タタリハ淡黄色ニ葉之耳叶ヨリ短小實ニ小ニ○木貫茶
ハ京師ニナシ越前越後ニタタリ此ハ葉直ニ六六七尺
ナル槐ノ實生ヘノ如シ莖強硬ナル故ニ葉形綿貫茶ニ
同シ色濃ク黒シ綿貫茶ハ葉色ヲ帯フコレハ根堅クメ

綿ノ如クナラズ下品之富士山ニタタシ富士貫茶ニ云俗誤
テ富士耳叶ト云ハ非ニ京肆ニ賣ルモノハ唐ノ綿貫茶上
品ナリ朝鮮ハ苦クシテ惡シ、和産加賀白山赤皮白皮ノ
二種アリ是レ大森上品又金剛山ノ麓ニ栽ルアリ此ハ佳ナリ
綿貫茶之今ハ作リ出サス○古來種樹家ニテ誤リテ毒
種ノ貫茶ト稱スルモノアリ葉ハ甘著葉ニ似テ長トシ莖
高大尺餘三年ニ花ヲ着ク貫茶色
唯花色与救瓜
而説不同
コレ救荒本草
ノ草零陵香ニ和俗多々葉様ト呼フモノ耳コレナリ
真貫茶ニ非ス

人參 和名下ニ見ユ

一名 人身事助 吳名 敵高丹上日

浮心脾胃中火邪
止渴生津液之系
治煩躁變酸水 李珣

品類数種アリ 芝朝鮮唐倭二品之中ニテ朝鮮ヲ上トス
名産ニ朝鮮ノ人矣多ク紅毛ニテナルトホルトクウクス生
葉ヲミシタテコウテト云 朝鮮ハ集解謂ノ遼東之中ニ
数種アリ形ノ細小ナルヲ貴クアリ肥大ナルヲ貴クアリ總テ
大人多ト云ハ上品人矣多ト云意ニ唯形ノ輕虚ナルヲ惡シ色
飽如メ肉透徹ナルヲ上トス潤實ナルヲ貴ク扶ノ肥大ナ
ルモノハ多ハ中ニ鉛掟ヲサシコム足ヲ^{サレ}擗ト云 本草蒙筌曰
類雞腿者力洪甘微苦真ト云ヘリ近年來ル草方彙編
ト云書ニ人矣多ノ試ニヤウアリ真ナルモノ生津ト云 同人
矣多ナルニ握ル時節ニヨリ輕虚ト潤實トノ異ナルアリ春
矣多ト云テ春採ルモノハ輕虚ニ秋矣多ト云テ 秋採ルモノハ

堅實ニ李時珍說詳ニ本草蒙筌曰春矣多力難用
一西不如秋矣多一錢ト朝鮮ヨリ來ル中ニ孩兒矣多ト云アリ
人形備ニ雌雄アリ精密ナルハ面目共ニ具ル李時珍說ニ根
如人形有伸故謂之人蔕神草ト是ニ長崎興福寺ノ唐僧
隱光ト云人アリ此人入矣多ノ^一精ク人矣多傳ト云書ヲ編ム
甚詳ニ云說ニ不加偽造天質自然ノ人矣多ヲ唐ノ俗名原
枝ト云朝鮮人矣多ハ自然ノモノナシ皆偽造ニ或ハ蒸シ斗
叶煎汁ナトニ漬メ來ル布目アルアリ絲ニテ纏ミタルアトアル
アリ偽造ニ絲ヲ以テ纏ミモノハ春其ノ矣多ハ輕虚ニ故堅實
ナラシメシカクメニ外ヲ纏ミテ布メハ蒸メ布ニテシメタルナリ
○海産品類多シ上品ヲ判事^テト云 朝鮮ヨリハ劣レリ形

冬月三三歳時
青ニ味ハ致味リ
ナメ色ニナリタ
ルニ種産ノ人多ク
ヨリハ好シ

状肥大ニメ色黄ニ開テアリ状甚美ニ然レニニ味厚ニ朝鮮ヨリ
劣ル所以ニ判事年ノ上品ヲ唐ノ俗名羊角多ト云産解ニ
所謂羊角多ハ別ニ百濟國ヨリ来ルモノバカリナリ今本邦
ハ未ラス洋渡大人多ト云アリ唐ノ俗名京多金多ト云
判事トハ異ニ枝ニナリ色淡クニ味固ヨリ厚ク下品ニ
判事ニ説タシ人多ク傳ノ説ニ朝鮮ノ判事官ノモノ持来
ル故ニ名ウトアレモ此ノ説ニ外ニ餘ニノ説アレモ取ニ置ラス
唯洋渡ノ説可ナリ唐ノ人多ク中ニモ孩兒多クアリ又
一種蝦様ト云アリ赤蝦白蝦ト云一色アリ赤蝦ハ黄赤
色ニメ堅硬開ニナシ味最劣リ形ハ肥大ニ短ク枝アリ足ヲ
人多ク傳ニ紅肉トモ赤棍ト云赤色ヲ云ル政ニ産解陳嘉

中華ノ俗多ク
ト云此更物稀

ノ説紫團多クハ赤蝦様ニ白蝦様ハ形相似テ白色ニ此ニ人
多ク傳白棍ト云二品ノ中ニテハ白蝦様ヲ上ト不全解判事
牛ノ次ニ輕虛ノニ多クヨリハ宜シ○折人多クアリ人多ク傳ニ多
碎ト云唐ノ肉折同枝折大折中折兎折ト云名アリ偽
物多シ固ト折人多クト云ハ大人多クノ末碎ヲ折レトス今無シ故大
折中折皆ハ
ハ唐ニモアリ物理小識ニ以泡多膠多接小多ト云人多ク傳ニ白
楨挿金尾ト云此ニサシコニ人多クノ一ニハ今ハ朝鮮肉折アレハサシコニ多ク造リ大人多ク
造ニ折ヲ取用
故ニ其ノ朝鮮ノ折ハナシ○今世上ニ上品ト云ハ小多クヲ宜クセテ
皮ニテ蘆頭ノトコロヲ裏ハ口ニテ若ハ御物人多クト云又寄人
多トト云五雜俎ニ新羅多雜大皆用款介合而成之ニ云

中華ノ俗多ク
ト云

△
其價貴シ故ニ彼
國ニテモ鬚ヲ用
ルヲアリト見ニ
直根ニ多ク鬚ニ
シ鬚ハ都テ竹
節ニアリ竹節
ノ根ニ根ニ生ス

功力不及小者ト○鬚頭人々多ハ唐ニテ多ク鬚ト云々存経逢原ニ
見ユム和名人々多「竹節ノ鬚頭尚耳」朝鮮ヨリ来ルハ其白也
ナシニ味美ナリ○唐ヨリ来ル^{上高今亦家之所ト云ニ}諸貨色^{ハナリ}朝鮮ノヒケニハ
劣レリ○又切多ト云テ淨液アリ輪切ニシテ液スアリ此思シ
湯多ト云アリ産解ノ末ニ詳ニ舶来アリ一名泡多^{人々傳}
ニ出ス此ノ和名ウツカ人々多ブク人々多ト云云産産ノ用ニ定ラ
ス人々多膏ヲ葉メ取ル跡ノ滓々粉多アリ李時珍曰去
皮者堅白如粉ト是及ヲ去リ暴乾ス故因許ニテ色甚白ク
粉ノ如シ故ニ名ク是トト上品ナレ外及ナキ故ヨリニ字味為
シ下品トス○廣東人々多アリ昔ハ此ヲ為茶様ト云々郊ニ
テモ偽造スルヲアリ總テ肥大ナリ孩兒多モアリ圓トモアリ

先年美玉ヨリ
廣東人々多クヲ
関東へ奉ルヲ見
ニ至テ葉皆ムカコ
人々多ノ形ニモ見
大ニ

其筆ノ如クニ卷キ
来ル偽物ナレ偽
物ノ多ク根ヲ用
勝レリ

是ハ人々多ニ非ス偽品ニ度多品ニ詳ニハ廣東新語曰越々
人々多蘓長公常種於羅浮有詩云今渡ノ書隱叢後曰
上黨人々多價一斤不過銀二兩外耳全々功用遼東參
三十餘換云ニ^{檢ハ今所謂ニテハ}明朝ニテ上黨ヲ上トス遼東コレ
ニ次ク今ハ上黨下品ニ皆偽物ナル故ニ又別ニ蘆頭ト云モノ
来ル朝鮮唐トモニアリ倭ニ等テ謂モノハ訛ナリ詩直根ノ頭
ニアルモノト同シ○竹節ハ今液ラス○又多葉アリ朝鮮ヨリ
葉ヲ束テテ液ス長ク尺許桃枝竹ニテ絡クハ朝鮮ナリ唐ハ
ナシ

○和名多ノ部 順和名抄ニ和名ヲ蚊ノニケクサスリ
ヤノ井ト云ヘリ延喜式典葉察武ノ所ニ諸國ヨリヤ種ヲ

融スル物ノ目錄中ニ人參ト云名アリ貝原翁ノ説ニ沙參ナ
リト云ヘリ此説當レリ如何トナレハ和産人參ノ知タルハ松岡若
水ニ子ヨリ以來ニ延喜式ノトキ和參ナリ目錄中ノ人參
ト云ハ沙參ナルヲ明白ニ和參ハ諸國皆産スワケテ深山幽
谷雜木ノ所陰土ニ生ス陽ハ不生モノナリ和參始テ薩摩
ニ産ヌ試ルニ上品ニ三極五葉ト云ハ大葉ナリ長スレハ四亞ニ
及レ六極ニ至ルニ三極ノ上ニ復一極出ルモアリ三極ノ上ノ真
中ニ直ニ茎立コレニ花ヲ開クハ淡綠色葉ハ白く色ナリ花
細小ニメ五瓣ナリ花葉同色ニ又茎ノ淡紫色ニ包ナルヲ紫花
人參ト云山州岩屋ニアリ東海道日坂八幡ノ社中ニ紫花
人參ヲ多生ス花後圓ニテ結ノ秋ニ至リ熟シテ赤色ニナル

ヒケニ味充好日
光ニテハ此ヒケ人
參ヲ俗ニカニシ
人參ト云

芭蕉藤ナルモノニ此實地ニ落テ生スルトキハ初生一茎三葉
ナリ次年ニ極ニナル又次年ニ二年目ニ至テニ極ニナリコレヨリ花
ヲ生ス初生ヨリニ極ニ至ルニテ葉茎禿ニ亦互ニ生ス五加葉
クテナリ藤理ノ粗ク宜ナル或ハ光リ或ハ光アリニモ大カ一尺
許ナルアリ輒ナルアリ針ノアルアリ讚別ニハ小メ鋸齒ノ粗キ
アリ此參ニハ直根ト竹節ヲ結フ言少作四邊ニハ竹節多ク
直根稀ニ竹節多ク類シクヒケハ竹節多クヨリ上品ニ薩摩
下野日光信濃上品ニ但馬丹波苦味多ク下品ナリ和産ニモ
孩兒參多クアリ直根ハ竹節ヨリ苦味少シ紀州薩野和列士野
高野ハ皆直根ナリ信州コソノ木目下野ノ日光薩摩日向
皆生ス伊豆ニモアリ之外諸國皆産ス薩野別テ上品ニ

下野ニテ日花人多

二三枚五葉ノサツメ
人多クトトリ人多ク
小人多ク。五葉ノ
人多ク

和参方言多クアリ吉野人多クノ和名トナ人参トナノ本
人参トナハ人参五葉人参五加人参五葉草出所不明小
人参ヒゲモクモト人参肥後山人参日光島原人参肥前島人
参津軽瀧石人参南郡カモシ人参層岸コレヒケテ
ト云アリ昂和参之故。和ヲ土人多ト呼テ可之。近年和ノ
参多葉アリ反テ上品之根苦味多ク下品ナル故。葉耳養心
朝鮮種ヲ裁ルヲ御種ト云形状ハ和ニ同シテ直根之モ有ル
処ハ之ノ形扁ニメ圓ニナラサルナリ。又ラウルト仁ニ連リテ
アルナリ和産ハ仁一ツナリコレ和ト朝鮮トノ異ハ朝鮮ハ六
月中ニ實ヲ結フ和産ヨリハ早シ昂テ六月ニ實ヲ采リ種工
此實生ノアルトキ種ニアラサレハ生スルナリ。魁ハスノ及

ト一省竹皮ニ包
報ノ

近年江ノ上ニテ
術交ラサリ
人等ト稱ノ廣ク
有ルナリ

乾燥スレハ一生スルナリ故ニコレヲ遠クトリ云リウエシ
ト欲ノチ缸中ニカリレテウユルナリ。参ヲ偽ル物多ク廣人
品ニ詳ニツリカ子人参ト一名ト、キ人参トコレノ條ノ
砂多ク之唐ニテコレヲ徐列参ト云此ヲ以テ参ヲ偽ル。又圓葉
人ト云ハ別種ニコレハ香葉ノ沙多ク之昂ヲ齋花ニ。野馬テ
云トキ人多ク沙多トハ所和名以ル人多クコレ羊乳根ニコノ根ヲ
参朝鮮葉濃煎汁ニ浸シ蘇ニテ糸リ小ニ偽ル。人牡丹人多ク
一名ヒテノ人多ク五島人多ク御門免人多クト云コレ利防風ト
稱スルモノ、嫩根ヲ以テ偽造スルモノニ本叶ナ丹草都ニ載ス
防参コレニ佐渡ノ山人多ト云アリ一名島人参濱人参出
羽ニテハ秋田人多ト云コレ野胡蘿蔔ノ類ニ加賀ニ白山人参

若水云此杜若
ナラント

一名シラキ白根人々ト云アリ細キ所ヲカモシ人々ト云コレハ世々
帰ニ似テ白色ノ小花ヲ開クヤ行ノ如ナルモノ絶テ人々ノ類ニ
アラス。又別ニ清政人々ト云アリコレハ加藤清政朝鮮ヲ征セシ
トキ採テ帰ルト云ヘリ藝州毛利元就ノ城跡ニ多生スコレセリ
人々山セリ人々高人多ク和稱曰シト云テ参類ニ非ス清政証テレル
ナリ京師ニモ芝草ハアリ今ハナシ葉ノ形ハ大葉ノ川芎ニ
似テ小ク白ミアリ絶テ人々ノ類ニ非ス。又唐大人参一名海
岑人々ト云アリ八人尊ノ根ニ或説ニ都管草ニ云ル未
的當ナラス大倭本叶此ハ艾草ヲ以テ鹹草ニ云ル最近ニ
詳ニ都管草ノ條ト辨ス。又ワラビ人々一名ワラビテ
人々ト云アリコレ竹林中ニ多ク生ス野胡荽維荀根ナリ

若水以テ稗
ノ大瓜也ニ云
ル也

又楓葉人々ト云アリ嶽山ニ生ストウサンシ胡荽トウサンシ又ヌカゴ人
々一名山セリ。スセリ人々又ニツハセリ人々ト云アリ
コレハ池塘谷川ニ生ス葉類ニ人々ニ非ス小ノ厚ク黒ミアリ
切ハ行ノ香氣アリ二三尺ニナリ茎ノ末ニ小白花ヲ開ク花
後ニハウマヲ結ハズ葉間ニ別ニウマヲ結フ薯蕷ノ零餘子トウサンシ如
根人々ニ似たり或ハ廣東人々ハ此根ト云テアリ未詳
考。又別ニ薩摩人々一名フレグロス川原トウサンシト云アリ
コレハ救荒ノ女萎菜ニ山中ニ多ク生ス行子ノ如キ葎ヲ生シ
モ上ニ花ヲ開ク小ニ根ハ人々ニ似たり古ハ丹波山城トウサンシニテ
ヒゲヲ採リ人々ニ雜セテトウサンシ質賣シタルトモアリ。又前胡
モ唐人人々山人々ト云偽ルコレ人々ノ名メ人々ニ非ス。

芥人參多土人參多ト云ハ野人參多之。天南星。山人參多ノ名アリ。白河芥葉ノ防風。山人參多ノ名アリ。松虫六百ト云アリ。加賀ニテ山人參多ト云。河原人參多ト云ハ青甘高及有陳ヲ云。ヤフ人參多ト云ハ芥人參多ノ一一名サツコ人參多コレ野胡蘿蔔ノ大ノ方ニ。又一種ヤフ人參多一名サマフ人參多ト云ハ芥ノ馬芥ニ。蛇床子野胡蘿蔔青蒿皆ヤブ人參多ノ名アリ。又青蒿ニクヤ人參多ノ名アリ。又クソ人參多ト云ハ荻花蒿ノ一ニ。野人參多ト云ハ青蒿野胡蘿蔔之ニ葉人參多ト云ハ延齡草ノ一ニエソウト云王孫草ノ一ニ。又岩人參多ト云之ノアリ。大小ノ二種アリ。一種石間ニ生ス。一種世上ニ云。廣東ノモノニ似テ茎ヲトリ葉小ニ。人水人參多ト云アリ。

水参ニ生ス以上ツリサキ人參多以下。卷活ニ田舎ニテハ人參多ト云。謂テ人參トメ用ル人アリ。

人參如人形
 孩兒參雌雄圖

雄圖 仰



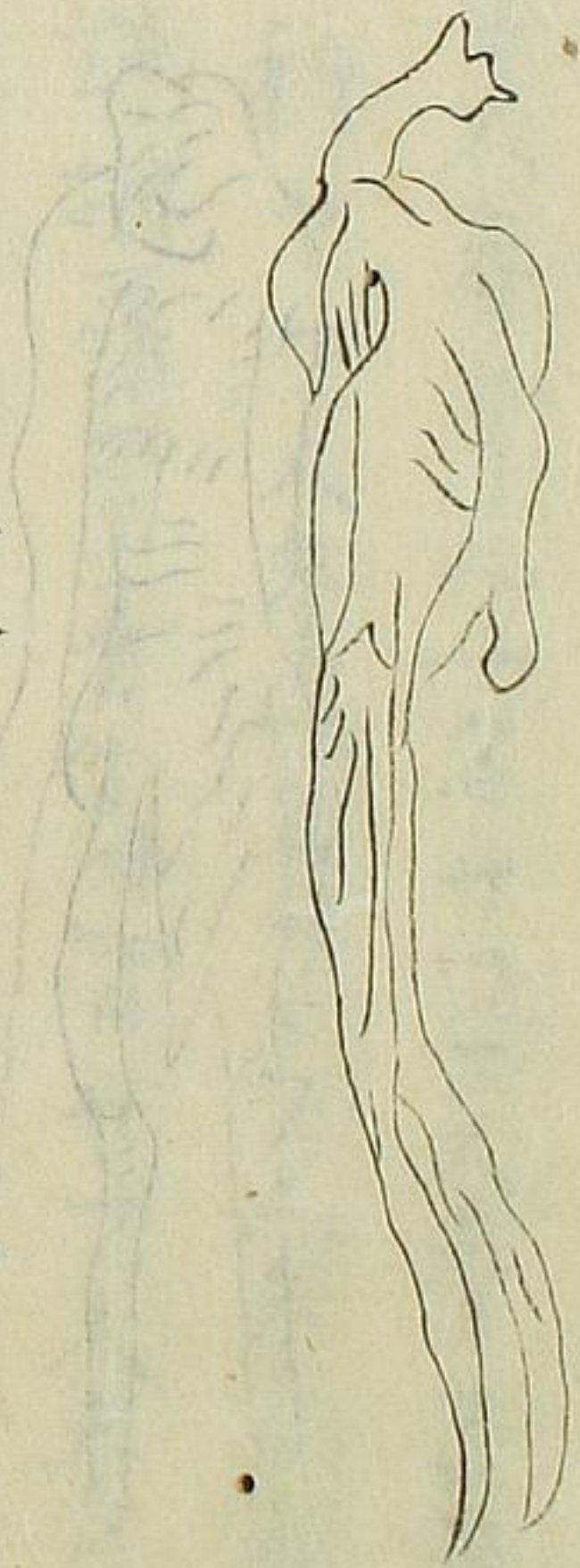
雄圖 俯



雌圖 仰



雌圖 俯



沙参

ツリガ子人參多ト、キ人參多 山大根 節 桔梗モトキ

但ニヤリニナ近 山十町 上レニシバ筑

一名 加徳 齊葉 存

和産多クアリ 山州白河山岩倉山嵯峨ノ辺山科ノ道旁
ニモアリ 経ッ日ヲ受ル山ニ生ス冬ハ苗枯ル根ハ径寸尚存初

生スル時葉圓ノ款冬葉ノ如メ小ニ鋸齒アリ 形飯秋金
如シ故ニ名ヲコレヲ食用ニスルニ漸クニトウ立テ生スル所ノ葉
大ニ異ニ茎ニ付葉ハ桔梗ニ似テ人ナリ鋸齒アリ 桔梗ニハ
葉ニ白ミアリコレハ白ミナレ沙参多ク方ハ茎葉共折レハ
白汁アリ葉ノツキヤウイロクアリ 茎ニニ葉ツツクアリ
又両方ニ葉相對スルモアリ三四五六葉モアリ 形圓ニ長
モアリ 全体茎葉ニ白毛アルモアリ又ナキモアリ 一種細
葉沙参ト云アリ 幅二分許長サ三寸許アリコレモ白毛ア
ルモアリナキモアリ共ニ秋ニ至レハ茎長サ二三尺モ正直ニ
立ノビル上一尺許ノ間穂ニ似テ穂ニ非サルモノ出花粗ツリ
葉ノ間ニ小枝ヲ生シソノ枝ニ花並十生ス長サ四五分許

ニノ筒花ナリ形風鈴ノ如シ青碧色ナリ紫尺許洪紫色
 モアリコレニ唐モアリ朝鮮種モアリ唐ハ和ヨリ大ニ色ニ
 濃ニ朝鮮種ハ葉大ニメ光リアリ重餘大抵同シ而シテ
 葉厚モノナリ外ノモノヤウニ見ルナリ沙参何レモ一根一莖
 又莖頭ヲ摘キハ數莖ニ至ル降液ノモノサ肆ニ古液ヲ握
 リ沙参ト云アリ蒸スルモノコレハ皆細ク堅ニヘキテ乾シ
 タルモノニ總テコレヲコロリ許朱子タルモノコレヲ卷^道沙参
 正云肩テ百液ニ近來ハ液ラスモ後液ハ乱沙参ト云コ
 レモ堅ニホノク折キテ乾タルモノコレハ卷カス系ノ如クシテ
 タ、味子テアリ故ニ乱沙参ト云各アリコレハ灰白ニメタテ
 コレ總テ灰白色ニシテ光澤アルモノハ蒸タルモノト見ユ又

楊枝^{ヨウジ}様沙参ト云モノアリサ肆ニテ防風様ト云防風ノ如ク
 細長シコレハヘカスニシテ全ク乾タルニ以上四種。和ノ沙参ハ
 巨クシテ内ニテセス輕虚ニコレ南沙参北沙参ノ差ニ楊枝
 様ハ北沙参ニ和産ハ南沙参ニ本州ニテハ先楊枝様ノ實ニ
 タルヲ良トスト見ヘタレモ又本州原始ニ独蘆サ心色灰白
 内虚有真也トアレハ和ノ沙参モ亦良トセン歟。サ肆ニ和
 沙参ヲ誤リ唱ヘテセイ子イト云テ多ク貨賣スソノセイ子イ
 ハ齊荒ヲ誤リ唱ルナリ。
釋名 羊乳 コレハ本ナ時珍有名未用ヲ僞入ナレモ此説アリ、許
 コレ別ニ出スヘシ和名ツル人參ツル沙参桔梗カラクサ。ツリ
 カ子カツラ^{註別}正云ニ山中陰土ニ生ス曼生ニメ四葉ゴトニ一処ニ

〇和ニ偽製シテ
 洋ト呼フハ四ツ
 別ハハ前ニシテ
 アリ色ニ皆他物
 ニテ偽テ作シ
 人參ニテ偽アリ
 皆不可用

ツリ沙参多ノ如シ對シテツカス蔓ニ一寸許ノ枝ノ如クモノヲ出シ
三四葉付ク未ニテハ一葉又二葉ニモナル四葉ニ限ニ非ス葉ハ
春フス蘿葉ノ形ニメ白色粉ノ下キタルカ如シ茎ノ葉共ニ甚具
ニ等アリ蔓ハ紫色白汁ハ出サス八九月ノ交蔓ノ末葉間
花ヲ生ス鈴鐸ノ形ニメ沙参ヨリ大ニ長カモ幅ニ一寸許
白色肉ハ班点紫色ナリ此根ニ胡蘿蔔根ノ如クメ大ナルモノナリ
然レニ乾セハ皮ノミニナリテフツク疣瘡如キモノアリ生ニテハ
くハアレモミエカタニコノ根ヲ和シ沙参ニ充テ、售ル葉鋪ニ
アリ古ハコレヲ以テ人參ヲ偽レリ

羊波奶羅摩一名一
日名藥物 虎鬚款冬一名一
日名藥物 薺一名一
日名藥物

一名 土桔梗本草 季奴只本草 賦參唐候宿
極其詳
沙参ノ類ニコレモツリカ子ツウ名アリコレニ二過アリ本草ノ
説ニテハ和シテソハナト云モノニ又救荒本草ニ説トコロノモノハ
圓葉ノ人參ト云モノニソハナハ葉夾々葉ニ似テ鋸齒アリ
厚クシテ先リ互生ス蔓ノ大小皆一寸許ソノ内圓葉
ノ方ナリ 軸高サ
三尺許ニ至ル六月茎頭ニ穂ヲ生ス長サ一尺許穂ハ岐ナシ
花ハ沙参ヨリ稍大ニシテ下ニ垂セス斜ニ着キ或仰キテ着ク
色深紫碧色形ヲ鈴鐸ノ如シ○圓葉ノ人參ハ宿根ヨリ
生ス葉圓ク鋸齒アリコレモ互生ニメ香葉ノ如シ茎葉共ニ
白色アリ茎高サ三四尺茎中白汁アリ六月花ヲ開クコレモ
花形ソハナノ如ク穂ニナリテ花ヲ生ス穂ニ岐ナシ救荒所

セイ子イ近江
ハアフロン名

説ノモノ即イ星之種柏象ニテコレヲ沙参ト云丹後鹿崎
山ニ産クト云然未知有サ。又白花ニアリ

桔梗

アソノヒヲツキ 歌書カチカキニテキチカウト書 和ノ
方書ニ名ヲ限メ併言テト云ヘリ 今ハ通名一

一名 吉祥杵和耕 都乙羅已納示存竹 存條苦桔梗

山中ニ自然生多シ大抵沙参ニ似タリ 茎葉ニテ白ニアリ。

葉ノ形長楕ナリ互生ス又一葉ツ、付モアリ二三葉ツク

モアリ花ハ先單瓣ノ紫碧色ノモノ常ニ多ク山生ス又。

白花單瓣モアリ 白色ニメニ重モアリ 碧色ニメニ重モアリ

白苞ウツニメ紫トイ纈イ紋アルヲ仙臺ト云又コノニ重ヲニ重仙臺ト云

テ外敷品不可服 救略之 ○葉舖ニ根ノ真白ニシタルヲ三原桔梗ト云コハ

六月土用中ニ根ヲ掘流水ノ中ニ久クツケテキ外皮腐リ

自然ニトレルニテヨリスレヲ洗ヒ乾セハ臭白ニナルコノヤウニ

スレハ苦味薄クシテ悪シ、三原ト云ハ葉ニ入用ヒス 甜桔梗苦

桔梗ト云テコノ桔梗ハ苦味アリキヲ葉用テニスベシヤハリ

八九月頃根ヲホリ皮共ニ乾テ可之甜桔梗トハ薺花ノナリ

唐ヨリ渡ルハ色トニテアシケレモ苦味アリ。和ノ中ニモ山出

ト云アリ皮共ニ乾シテ色黒ミアリ苦味アリ。又花壇ト云ハ

黄色ニメ皮マリ花タンニウエルト云テ。葉舖ニテ楊枝様ト

云者上品

長松

治大風惡疾眉髮墜落
百發瘡潰母以一百入車叶
少許水煎服之

未詳

時珍曰葉如松服之長年如松柏及仙茸 又曰長松生古松下根色如薺花
長三五寸味甚微苦類人參清香可香。薺器曰草似薺葉上有脂火服之

若水ノ時分ニハ 歷野山中ヨリ出ツト云ヘリ 苗スキナノ形ニ

問荊

人根羊乳根 似タリトコレガ長松ナルカニ後ハ不見

黄精 ナルコエリ サ、エリ ツエウサ ツリカ子草

一名 黄獨 便覽 沙田髓 耕 玉芝 叶 竹方根

御宗 馬一箭 本叶 今物馬箭之註改不取

形状數種アリ 竹葉ノ細長キアリ九テ黄精ノニクハ

圓ク色青ニ一 根一茎直上ニ四尺瘠クルハ一尺許リノ

モノモアリ茎ノ長短ニヨリ葉ノ大小アリ 胃以葉開ニ

下垂シテ花ヲ生スニ四花制シツク 鈴鐸ノ形ノ如シ

帯十二白色ノ花ノ皮ニ尖リ 銀色ヲ帯フ圓空ヲ

張フ 靱也ノ黒シ大サ南天獨子ノ如シ 葉極ノモノハ子保

以耳後ハ和産同シケレモ小葉之ニ葉根ニ對シテ

生ノモノヲ正精ト云 互精ヲ偏精ト云 本葉ノ説ニ

リ根形ハ生ノモノ如ク節アリ竹節冬ノ如シ 連珠ヲ

ナシ横ハ長クナリ一尺許リ堅ハハノヒス味茶ニシテ一年

ニ一節ヲ生スルモノニ一年葉節ニ生スルハ非ス 葉

鋪焦ル上品ハ奥列南都ノ蒸葉精ト云アリ多ハ委雜

ニテ節ナシソノ中ニ委雜ニ多ク精ヒトツニ混ルリコレヲ

擇リ出シテ節アルヲ 手ノみ 黄精ト云ナリ又節ナキヲ擇リ出シ

ニ委雜 口 ナリニ委雜ハ茎三角ノ巨ク葉サクツクナリ

紫色ニ黄精ハ皆圓クツ節ノニ此葉ノ黄精ハ細葉又

圓葉又稱葉ニアリコレニ圓葉ノ黄精ノ方ハ葉光

リアリ

神請處止冥傳 填務 髓下三尸共珍

北冥孫ノ實務 ト呼フコレ次ニ

除煩同止消渴潤心肺
補五勞七傷虛損

姜薤

アトドコロ カラスユリ シイカヒサ サラモンス

一名

女百十本異 婁草 田麗 草子 田以 莫芝 本條 豆應 仇羅

所集 黑芝 亦類 異之 千金要 今按 馬烹 之誤 政不 取

山中陽地ノ如ク多ク白河ニモアリ宿ヨリ宿ヲ生ス一根
一茎ヤブハ竹筍ノ如ク皮ヲ包ミ筍ヲナシ生ズ長ズレハ
葉ナシニ高サ二尺茎ハ實精ヨリ巨クノニ角本紫赤
赤ニ葉ノ着ク如ク紫黒色之葉楮様長サ二四寸幅一二
寸小ハ一寸許リニノ堅條バカリアリ葉ハ白ニアリ光ナシ
而背共ニ白ク背最白ニ根上ハ一尺餘ニモナル換ハ長ク

葩ノ芝ニ辨

生ズ巨ク括ノ如ク根須アリ葉ヨリ生ニテニ葉ニ十ニ味耳ニ
生ニテ食ラズ花實形状實精ニ白ニ花ハ實精ヨリ大ニメ
短少ニ二三花許リツク奥州南部ノモノ大ニメ上品ナリ
コレヲ葉鋪ニテ地實様ノ實精ト云 此等ニ葉薤ノ葉葉ノ
モノモ同シク之ヲ又一種葉薤トアリ御葉ノ葉薤ト云
外ニ異ナルナリタ、葉ノ異ナルノモナリ

附録 鹿薤 ヲキサ

深山陰地ニ生ズ實精ノ形ニ似タリ葉カ一尺ニ滿クダ葉
ノ形楕ナリ花ハ茎ノ末ニ種ニナリテ林蔭生ズ大ニナリ
白色ニ辨ニメ細ニ食ハ南天燭子ノ大ニ種カレハ黒ニ根
ノ長ク實精ノ如ク又竹薤ノ人冬ノ如クニ生ズ之ヲアリ

一名 延壽果 通雅 鹿跑草 同上

附錄 委蛇 未詳

松岡先生ノ説ニハホウチヤクト云葉ヲ以テコレニ云レトモ
未穂ツノホウチヤクハ山州大船落石小野ノ林仲ニモ
アリヨ精ニ似テテサニ尺許リニ至ル茎細ク枝又アリテ
茎葉茂黒ニアリソ葉落クニテ 龍ツク 櫛椽ナリ黒ニアリ先リアリ
似立條ニモ葉精ニ異ニシテ祖ノ枝ノ末コトニ花
ヲツク或ハ二花ツクモアリ下葉ノ生ス葉精ニ異ニシテ
大ナリ長サ二寸幅ニ四分モアリ色青ニコレニハ 細葉ニ
アリ 櫛椽ニアリ 柘ハ白キ根ノ花後ニ圓實ヲ結フ
色青ニ

ヤミニ古名

知母

一名 老梗 櫛椽 薺 品字

種物家ニテ種々ノ名ヲツケル葉ノ形非ノ如シ苦ノ如キ
夕チニノ芒ノ如キヲヤスナシテ幅廣ク七サニ之ノ葉
生ス葉厚シ茎中ヨリ直生スニ之人モ之ヲ末一
尺許ハ穂ニ爲ル此葉ノ少シ者ニアル花多クハ細長
ニ分許ニアリ花は實ヲ結フ時細クモニテ角七ニ分
許内ノ子モ之ノ角ニメ黒色コレヲヤケハ生レヨシ又コノ
穂ノ中ヨリ葉ヲ生スルアリ花は實ヲ結ハズ葉ヲ生ス
ルアリ是ヲキリ裁シハ直ニ葉ヲ生スルニ又種ニテ三
五年許ニナシハ用ラレハ人柘形ノ葉ノ如シ根は

黄褐色ノ毛アリ葉ハ人ノキヲ嫌フモノノ葉鋪ニハ胡蝶
花招ヲ以テ偽花葉ヘテ後葉ヲ折ラカレハ葉熱セズ根
苦直ノ折ラ折ラ熱スルカ如シ

釋名 地衣救荒本草一ノイハク
五ノ葉ニ与此ノ名ニ似ル 兒草花一名
一ノ名

肉後之密

一名 地精石菜
本草 金箭本草

近二年新法置る多し明和庚寅氣を多ク後ハ益細
塩浸ニ年ルビヤ一尺許ヒツレリ鱗甲ノ如クモノアリ
水ニ投スレハ鱗甲融ル見ユレモ以ク水中ニ至ルハ皆解
散ス色黒ミアルニ白キニアメ色ニアリ昔ハ少シ今ハ多シ
和名ハ中野日光ノ方ニアリ方言ニチカサダケキムヲ
タケト云度ヤ一寸モサヤ一尺許ル山陰地ニ生ス草也

男子純陽不興女人純陰
不貞潤土極長肌肉瘦
膝男子時精血遠遊女子
芋下陰府大明

之同ク地ニ生ス形状葉モ花ノモノニ似タリヒツ
ヒリ鱗甲ニモアリ四月ハ鱗甲ノ間ニ花ヲ生ス厚クナ骨
子形鱗甲ノ間ニソゾイテ居ルガ如シ幅ニ二三ノ花ニ
鱗ニ同ク黄赤色之和列山ノモノハ茎少シ根細シ高一尺
許色モ黄赤色内ニ少シ白色ヲ帯フコレハ一知ニ云々武
一本ニモ生スルモノ外ハ虫ヲ食テ花ノツク知レ七八寸之根ハ
和名ノ未タ聞サルガ如シコレニ少シ根須付テアリ根ハ一
ニテソレニチクガツキ又モ先ニ和名ノ如キモノヲ生スルニ
近來海ノ北極ノ區モ大ニ全運根ヲ以テ偽ルナルハ故ニ古俗ヲ莫トス。和名
春唐ガラシタキセルユウレイダケヲ當ル。根ニ何層皮キセルホウレイダケハ
列當ノ根ナリ
滋知ニ生ス

列當 ハニウツホ

男子去方七傷補腎
令人有子去風血夜痛
内服之

一名 西米列

群芳譜

海邊ノ地ニ生スルモノ又陽地ノ山ニ生スル山列白
河大文ノ草ニ生スルモノアリコレニ葉ハナシ花ハ白ニシテ
百ノ草ニカハセテ半以下ハ茎ニ半以上ハ花ナリ密
穂ニナルウツボクサノ如ク種長シ花淡紫多ク茎淡
紅色多ク花ノツクモノニ根ハ黄多クノカタクニ
モカクニ多ク根ニ多ク許ノ根ニテヨリチクノニ本又
一本ニ生ス

鎖陽

一名 素榮

稗名

素榮

本草

船中アリ葉土ヨリ生スル草ニテ木香根ノ形ニ

大補陰草益精血利大便
瘕人大便燥結者咬之可代
慈菴菜爾爾任家草

潤燥養血補虛解毒時珍

形如蒼子ノ葉開
如之

ナリニアリ葉ノ色ニ白ニシテ硬ニシテノニキメノツヅリカタキ
モノナリ火ニ炙レハ軟ニナリ切易シ葉ノ根ニテハナキモノ
狀如ラリハ菌ノ形ナラニ葉本ノ根ナラハ炙リテニ葉弱
ニナルモノニ非ス味少シ葉ノ根ニハ和氣味詳伯列ニ馬
ノ陰茎ト云モノアリ形ノ似タル下馬ノ陰茎ノ如シ馬多ク
所一山アリニ生スルモノ也 伯列ノ人言中ニ語ル

赤箭

苗ノ名

天麻

根ノ名

ホウスクサ

佐

ススビトノア

羅天蒼目眼黑頭旋風產
内作非天麻不使

都羅本

御草

都羅本

御草

石山

赤箭

赤箭

赤箭

赤箭

赤箭

赤箭

赤箭

赤箭

赤箭

赤箭

赤箭

花葉色花ノ
先黒点アリ
一本

ス茎ハスル時ハ左右ヨリ及アリテコレヲ包ミ筍ヲナスニ由
尺時許正直ニ長スルトツノ皮カツイテ上ニ茎ハ赤ク多
葉ハ赤ニ故ニ赤心前ト云フノ茎端最トカリノ処ニ必ず許
ノ門極ラ為レテ花ヲ生スニ分ハカリニメ細ク云辨グサニ
ニキルヤウニ許花茎共ニ深紫多ク之根ノ形ハムノ足ノ
如シモカニ四寸幅一寸斜ニアリ少クノ根枝ニ付スルニソ
ノ一方ヨリ茎出テ赤心前ニナル根多ク葉白西國ニ於
東國ニ多ク根ヲ乾シ葉白ノ多ク明徹ニナルヲ常用ニス
方書ニモ明天麻トアリ明徹ノ多クナルヲ上トス根セテ
ハ心平角ノ名ト曰シヤ故ニ平角ト云フト云ト李時珍ニ説
アリ是之存性原姑曰瓜ニ麻明徹者任又曰平角天

木

麻不堪用コレ形瘠セテ平角ニ似タルヲ以テ平角ト云フ
スルハ非ニ種ニナシ自能ト生スルモノニナルヨリテ根ヲ
福ルトニナシ假令氣ニ不活根葉ノ乾クハ大ニ根
一ツアリテサテ子ノ心キモノザルリニツキタルアリ紅中解
還為子ノ説アリ非ニ種子モナキモノニ京師へ出ルハ大
和守陀記別ニ云フ江戶ト稱ヒテ云ハハ
仙居ノ産ナリ又云スニ江戶ニモアリ

紅中解 赤瓜 キウリノ因ニ云フニ赤瓜ニ云フニ赤瓜ノ名アリ
梅酒瓜 ツケウリヲチウリカクウリニ謂瓜ノ種也

正誤 一々麻系ニ云フ草ノ一

和名赤木ノ下ニ見ユ
白木一名 天蓼木 新考 白芍薬 和名 烏一刺 本草

今イフ和自本ハ茶本ハ茶ト白トハ別種之洋種二種也
耳ル旧存ニテ和産ノ二本ヲ辨ズルハ老根ヲ茶本トシ
嫩根ヲ自本トス然レモ此レ皆茶本之形状ニ非ズモナリ
又五葉ニモナル五葉ハ上ノ方ハ五葉ノウキ本ハ二葉ノウキ
而シテ葉トナレテ葉ノ原ニ芽出レハ毛茸アリ長スルニ及テ
毛茸見入ス黒クテ葉ノ二葉ト五葉トハ固ニヨリテ別
之ニ葉ノモノ変ニテ一葉ニナル時秋至頭ニ花ヲ開キ
形テ刻ノ如シ多ハ白多之又赤キモアリ小刻ヨリサレク
大ニ方極一極一葉之又一極ニ五葉ノモノアリテ各
二三尺此皆茶本之必ニ此中ヨリ二本ヲ分ツヘカラス
自本ハ一種茶本ト別ニ厚皮白本ハ真ノ自本之和ノ

如キ茶本ノ嫩根ハ非ス方書本或白本トアルハ皆厚皮
自本ヲ用ヘシ和ノ自本ト稱シテ質實スルモノハ未ダ的
者宜詳ニ辨スヘシ和本ハ奥別會付播別明名ノ三好
丹江信濃和劍但馬ヨリ出ス皆茶本之又自本ニ開
アリ然レモ未ダ京師京師へハ未サス江戸道灌上ニ生ス
此ハ三葉或一葉之茶本ヨリ葉ノ屬ニ多クニ生シ全体
葉大ニ花形同ク唯白花ノニ之為サ同シ根形肥テ春
節ノ如シ今茶本ノ嫩根ヲ以テ云トコトモ之ノ相似テ少
ク肥大ニ今種ヲ葉ノ上ヨリ取寄セ裁ルモノアリ此真物
也其ノ形瘠セテ長ク五葉ニナル色淡シ花形同シ然レモ和
リ大ニ毛茸赤シ高ク三四尺葉肆ハ之間ニ出スアリ花後

又下野ニ生ル
名茶根ノ白本
ト云アリ是ハ
自本ノ白本ニ

野負ラ以テ名

之ヲ結フ根ヲ切分テ種ヲモ呼生ニ由シ此其種ノ白木
ハ干乾ニテ来スモノト形状異リナシ。其種名年ハ世ニ
希ニ葉厚ク硬シ根トハ突キノ子岐アリ。葡萄ノ如ク赤
カカラス左右ヘニツツ。葉ニ枝ヲ生シ。其葉ノ如ク花ハ
白ク。其ノ形状ハ同シ。葉ノ先ニ汁アリ。此ノ其種ツニ云ハ
生ニ疑シ。若木常用和名モ有シ。白木ハ澤邊可之船耳
ノ乾白木ハ如ク様ト云々。頭本ニ云。此上品之朽頭木雞
腿木モ共ニ上品之朽白木ト云アリ。男ノ川列ヨリ出ス。此ハ
アテリ。包シカラス

若木 古削ヲケラ サキクサ エヤミダカ 二本若同名

赤虫名コスニイセス ワレモカウ 越中ニテ若木ヲ一ト云

一名 若若廣葉 越中

白木ハ好海草ヲ以テ候。屋上ニ至キ曝シ一目謂之

神本 其得形状白木ノ條 詳ニ辨ス

狗脊 イヌワラビ ヤマワラビ ワサソテツ 三名 コカ子ワラヒト

一名 槭奴 録 越中

舶来根金モアルヲ金毛狗脊ト云。上品之根ノ長サ七八寸

ヨリ一尺ニ至ル幅二寸許アリ。左右ヘ枝多ク出ス。狗ノ脊骨ニ

似タリコレ。葉ノ生タル跡ハ此根ノ全体ニ短キ金毛。密ニ生ス

切ハ中ハ綠色ニ常用。ハ金毛コレ。里モアリ。ト品ニ許シ。其種

種ハ和名ナシ。二種コカ子ワラヒト云アリ。ハ山列本。其アリ。其谷

陰水辺ニ生ス。葉大サ二二三尺。メニノフノ如ク。葉密ニツク

又シテ若木ノキ
シノヲトモ云

根ハ似テ至テ細
シ。金毛アリ。然レモ
未ク入。葉用

形似葉似テ
長ク幅廣シ
相対ノケテ

蕨ノ葉ニ似タリ此金毛ノタ子ニ又黒豹脊ハ葉クサ
ソテツノ如ニナルアリ又コガ子ワラビノ葉ニ似タルモアリ
葉ノ背ニ金毛ノマルアリコレハ皆花ニテ別ニ花ナシイマセ
ニテイマセニイ皆一類ナリ色黒ヲ黒豹脊ト云下品ニ

母貝葉

キジノオ葉前トテオ和泉

一名猪脊

通稱

黒脊

日土

牛高

非齊葉

山中陰濕地ニ生ス下垂ス

根多ク岸ニハリツキ生ス葉一

枝ニ茎一本直上スソノ茎ニ左右葉十枝ツクナリ冬ニ枯

レズ北背ニ金毛多ク生ス面青黒背色淡ニ別ニ花実ヲ生
セズ金毛ハ即花之又御葉ノ母貝葉ト云テ葉小ニ長ナル
アリ葉背ニ背ニ母貝葉ト云ハムカテグサノ根ヲ以テ偽リ焦

又点ノ尾又ハ
シハ葉カヲヘン
子リテト云細目
ニ此ヲ載セズ唯
群考誘風尾叶
ハコレニ近キモノ
俗方ヘン子リ茶
ヲ産脚ニ用ヒテ
奇効アリト云

形状相似タル故ニムカテグサモ母貝葉ノ一種ニ又風尾葉ト
云モノ類品アリ相似テ別ニ焦多クキモノ之又金毛叶ニ風尾
葉ノ名アリ風尾葉ト云ハソテツニ風尾相ハモミノ本ノ
ハ小風尾葉ト云ハカワヘン子レスト云葉ハ大風尾葉ト
云ハ母貝葉ノ管仲ノハ子ノ誤ニ

気此葉

出產一園

モククケ

久元明

藤子

雙六ノサケ

玉輝

美ノ名ナリ

巴戟天

カキノハサリ

一名

丹田

雨

事物

武蔵刺根

根別

三才園會ニ載葉ハ白茶ヲツリ

巴戟ノ一名トス誤リニ誤テナリ

二ハ穀葉ト白茶トハ白葉ノ別名トス白葉ハホロト云園葉ノヒヨトリニヤウ
コナリハ香物子ニ本巴戟ト云名ナリ
茶ニモ巴戟天台山ニタクアリ外ニ稀ニ山別大原野ニ問

光泉
証類巴戟ノ次ニ
白葉ヲ載ス
故ニ三才園會
雜ノ誤ト見ヘリ

アリ四五片頃、宿根ヨリ有ラ生ス高サ一尺許、柳ノ葉似テ
小ニ七八葉茎末ニ互生シテ一葉ツ、石リテキテ生ス茎ノ
末ニ種ヲ生ス七サ一寸許、花籜生ス花ノ長サ八分許、夏ノ
花々々之色黄之指ニムカハハ赤色ヨ帶ヲ花後ニ実ヲ結
圓ニメ扁大カニ分許、種スレハ黒色根ハ女方へ横ニ蔓行ス
直根ニナラスコレ皆種ニニエカワ、連珠ニナル右根葉脈同長ニサ
種子アルハ五寸許、白苞之一窠ニ多ク生ス故ニ採難シ。又細葉ノ
巴戟アリ柳葉巴戟ト云世ノ七サ五寸幅五分許コレハ
柳ノ葉クサトハ云類シテ名山ニ生ス。舶来好種アリ
根ト云アリ肉巴戟ト云アリ根葉連珠ニ色紫之中ニ心
リ又之中ニ連珠ニナラサルニアリ是ヲ椿様巴戟ト云肉

巴戟ト云ハ根ヲツブク切タルモノニ全根ハ知レ難シ然レ此ハ
形肥大ニ味卑ニ潤澤アリ連珠椿様ニ味異リ堅實メ
潤澤ナシ材ノ葉リキヲ割テ乾セハ肉巴戟ト曰ヤウニ
ナルニ。名解、根頭設葉似麥門冬而厚大ニコレヲモテ
スリトスル説アリ。夏産、陸立チテ種ヲナス七サ三寸許、花
紅花ヲ開ク大サ一分許、此根大ニモ七ニコレヲ充ツルハ恐ハ
非ナラシコチ子チハナニ云又麥門冬ノ葉ノ巴戟ト云ニ傳
名、繭糸綫草、陸立チリ此種説ニ

巴戟

附録

近三平江ノ本草家ノ説、巴戟天ハ柳ノ葉クサニ非スト云

肥後ノ山中ニ松疎松ノ木ト云テノアリ是ニ充ツ
本ト云テノハ茎ニ針アリ巴棘ニ充ル任ニ身トヤラズ
タルモノナリ葉一寸許茎五寸許根数珠ノ形ニナル故ニ
戟ニ充ル説出タリ江戸ノ説ハカキノ茶ノ有ハ冬枯ル巴戟
天ハ冬枯ルスト有テテ以テ水ノ説ヲヤブレリ

遠志

ヒメハキ コクサニハハキスノハキ 江戸種所
茶ノ名 野茶 筑前

一名蔓 詩經
蔓草 苦蔓 通雅 阿只草 新茶

山中陽坡ニ生ス山別白河山ニテアリ苗ノ高サ二三寸許リ
一根ニ好葉生ス圓葉ニシテ小ヒメツケニ似タリ二月以葉
開ニ花橙黄ス紫色ニメ鳥ノ形ニ似タリ陰ニ裁ハ白色
或階級をニナル花似テ法ヲ楡葉ノ如ク圓ノニ分

此、白河山又大
和ニアリ

許リ又扁ナルニアリ内ニ扁平子アリ許リ又大葉ノ遠志ア
リ稀ニ有サ一尺ニ長ク葉ノ大サ四五分花實ハ白シ又一
種細葉アリ石原ニシテ和列列産多ク細葉ト立
上品ニ葉紫ニナルモノアリ葉肆ニ彌帯テノ舶来ニ種アリ
ヒメ遠志ハ軟ニメ潤澤アリ子ニ遠志ハ堅實ニメ滋潤ナラス
下品ニ和産大葉ノハ舶来ノ子ニ遠志ニ充ル細葉ハヒメ遠
志ニ充ルニ又朝鮮ヨリ来ルコレハ子ニ遠志ノタチニシテ
下品ニハ大葉有テ海濱ニ小葉アリ俗誤リテ遠志トス
非トコレハヒナギヤウノ子メ救荒ノ細葉ト云フ是ニ
百脉根 ミヤコウサコガ子ハナコガ子ケサコガ子メスキ
キレンケ エホシケサ 江戸 キツ子ノエントウ 江戸

河原ニ多クアリ小葉之春宿根ヨリ生ス一柢ニノ茎葉生ノ
地ニホウシ花紫シロノ如シ七七八寸ニアリ世ホシ荷花
紫葉ノ系ヨリ至テ小ニテ小キク迎葉花葉ノ如シ五葉毎
一知ツク葉葉赤ニ深緑色ニ四月迄存端ニ七八花枝簇
ス花ノツキヤウ荷花紫葉ト曰レテメ大ニ形豆ノ花ノ如
シ金葉多ク之源倉ノ月ハチヤイロ禍色ノ類ヲタルアリ英ヲ結フ
長サ一寸許荷花紫葉ノ葉ノ如ク少シク細シ生ハ青ク
後禍色ナリ

淫羊藿

イカリソウクモキキリソウ江ノカリガ子ソウ加賀
カナゴキソウ伊祿ニトドリハナ木船ニ枝九葉而尊師通名

一名

黃徳祖

家養

豪筈而尊師

朝耕

仙臺及

保赤

深山陰地ニ多ク生ス天台山山列白河ノ奥ニアリ先ツニ
月以新芽ヲ生ス初ノ芽ハ花ニナル枝ニ生スルハ七
八寸ソノ先一二寸或ハ一寸ニ隔タル四辨ノ深紫花ヲ開
下垂ニテ先分ニ鐵楯ノ形似タリ一枝ニ六七花ニツク
濃紫ノモノモアリ又燕子花ノ如クニ青ミヲ帯タルモ
ワリ下野日光迎ニ生スルハ青ミヲ帯ス又桔梗花色ノ
モノモアリ常師ノハ淡紫多クノミ之間ニ白花ノモノモ
アリ記別越野ニハ皆白花ニ此ヲ千トリクサト云又奇品
ニハ淡黄色ノモノアリ何ノ処ヨリ生ス歟未詳種柳家ニアリ
何レモ花一元ハ下ヨリ葉ノ枝生ス葉ノ枝七八寸モ芽
ノ大小ヨリテ長短アリ茎ハ細ク先ヨリ一茎ヨリ

三岐ニ分レソノ枝コトニニ葉ツツク故ニ枝九葉葉ノ名
アリコノ九葉ノ葉ハ楕^{ヒコリ}ノ形尖リ葉ノ縁ハ細カキ
刺アリ葉硬シヤオ虫シノ時ハ淡紫多クトクト開ケハ青
ニ冬枯ラス冬ニ至テ尚在リセホカレハ又紫多ク夏ス
ニ葉種ハ九葉ノ葉七サ七八寸モアリ和ハ三四寸之近年
ハ葉種アリ和列迎テ栽培ル人アリコレハ葉ハ寸許
薄淡ハ葉古テ経^レ和産新^ニノ葉月^ニ良

味^茶 味^茶 ムラサキレイシ

仙茅

諸説紛々トシモ未穂^ニ葉茶舗^ニ舶来ノ根アリ胡^マ葉^マ
ノ如キモノハ胡^マ葉^マ連^{ヨリ}ヨリ實ノ味耳^ク煮^ミアリ此^ノモノ

和産未穂^ニ近年^ニ七^寸キ^ンハ^イサ^ハト云^テノアリト云^ヘ
リ之形^ハ椶^桐ノ葉^ノ如^シノ似^テ條^{アリ}一^系四五^枚生^ス
ソノ四五枚ノ中心^{ヨリ}茎^ヲ抽^キハ^ハ辨^ノ葉^花ヲ^{ツク}大^サ淺^ク
如^ク形^ハ蘭^花ノ如^シ花^ノツキヤウモ蘭^花ニ^似粗^シ葉^ハ
近^キモノ未^ク葉^ハ椶^桐ノ嫩^葉ヲ^一枚^ハ
ナシクルカ如^シ物理小識^ニ碧^花葉^花ノ者^{アリ}ト云^ヘリ彙
言^ニ白花^ノモノモアリト云^廣東^新語^ニハ^八月^開葉^花ト云^フ
彙^解ノ説^ト異^ス七^寸キ^ンハ^イサ^ハハ^三四^月花^ヲ開^ト云^フ
ナシ^リヤ古^名云^フチ^ニリ^サコ^エノ^ハク^サ今^名ヒ^ナノ^ウス^ツホ^ト云^フ

採取月令一作
新本草

採取月令一作
新本草
【名】山麻^葉野^芝麻^詳 蘇^省字^採
數品アリ芝^園東^道灌^山ノ七^尺上品^ニ沿^路ニ^出任^{ナリ}

西方ニテ此ヲ唐種ト云々ハ唐種ニ非ズ關東ノモノハ宿根
 コリ宿ヲ生ス高四尺茎ニテ之回差ツクニ之ツ方茎ニ死肥
 レハ五角ニテナル葉ハ兩對モクニテ尖リキノコニマリ胡麻
 又ハルリ虎尾ト云々似タリ鋸齒最細ク似タリ葉青クニ
 テ嫩葉もろク葉ノ秋九月枝毎ニ短ク生スモサ六七寸肥ク
 ルハ一二尺ニモ至ル花ハ黄色又少ク褐色ヲ帯ルモアリ此根ハ
 直根ニナリテ正直ニ下ヘ二寸半ニ生ハ白ニ切レハ直根
 クナルハ漆ノ如シ玄參ハ根ノ柔軟ナルヲ上トス敷山山列木
 船ニ産スルハ乾セハ硬シ下品ニ葉ハ形少シ黒リテ短シ江
 別朽木ニテハスキノ皮ト云々葉形鋸齒ニ似テ尖リ葉色
 ニ黒ニナリ花紫黑色ニシテ穂ニ又アリ江戸ノ産ハ穂ニ又

ナニツノ花一ツハナニクアルアトツキウス白ノ形ノ如シ故ニナノウスツ
ヒナノウスホ又略シテヒナノウスモ云々肆ニ澤邊多シ有テ物ハ江戸ノ
 産ニ良ニ嵯峨嵐山ニ生ハ穂ニ板ナシ花ノ色少シク葉ヲ
 帯フ至テ上品ハ花苞葉ノ形正ク鋸齒正シ此唐種ト
 大抵同キニ

薯ノ和名ノ
 コキリヤ同名
 地榆

ワレモカウダシゴイタキ天火草和別高野花名ノコキリヤ
 一名ツキウス玉札群芳瓜菜新菜豚榆係石

和ノ方言ニ天皮草ト云アリコレハ竹ノ青皮ノ下ノ高直ノ
 方言ニホウズバナト云々此草ワレモカウト訓ス是ノ同名多シ
 桔梗カハカヤワレモカウト云ハ秋生スル也如キモノニノ管ノ取
 ナリ又麝香モワレモカウト云又蒼朮ノトモ越中ニテワレモ

伊勢物語枕草
 紙ニワレモカウ
 トナリル也

カウト云之地橋原師ニカシ山列上加茂神領山ニアリ位知ニテ
ハ未タコレヲ見ス和列ハ山野世ニタタニ初ハ府根ヨリ生ス
紫蘇フダ葉ノ如シ一根數茎生ス此紫蘇葉ニ似テ緑祖キ
レコミアリ別ニ中ヨリ茎ヲ抽ク下ニ入許リソレニ葉及生ス
大ヤ紫蘇葉ノ如シ葉小毎ニ枝ヲ分チ之モ咲ニ花ヲ生スセヤ
五分幅ニ分許リ細カキ花コソキ鐘ヲナス形殊ト葉
頭葉ノ如シ紫者アリ赤者アリ後赤者アリ又モ穂ニツ
重ナルモノアリ又白者モアリナトリクニト云之内白ハ少シタチ異レリ
穂一寸斜細葉ニノ鋸齒モアリ薄ハ根直生ス和者根
ハ多クハ横生ス加州辺ニ生スルハ直根之形状ハ同シ其種
享保中ニ来ス江戸官園ニタタアリコレハ根ハ正直ノ防

夙ノ如クニコレヲ示ス之ニテ上品ニ此根ヲ日乾シ槌ニテ碎爛シ
艾ノ如クシ石炭ニ久クスレハ穴ヲワケルニ甚易

丹系クニコククサ 古名延長武

紫肆ニ降後丹系多ク根アリクク後ラス近年多ク後ス
葉ノ大サ八九分サシ長ニマリ鋸齒アリ茎葉ニハ細キモアリ方茎ニハ
門ニ似タレ根白シアノラヌモノナリ許リ丹系多ク和者ハナシ
諸説アルニ未穂當故ニ論セス根枝多クモノ之鳥サホノ
クニテモアリ許リ又咲後細ク中ニテ巨キモアリ皮赤褐色ノ
丹ヲ灌タルカ如シ切ハ内液黒色白キス子見ユル種亦解ニ
ハ肉紫ト云ヘリ古キモノハ黒キナリ

紫矣多ハルトラノカ

一名 青矣多本草

叡山ニ多クニ山列木形ニモアリ春早ク花ヲ開ク市中ニ裁ハ
二月頃ニ花ヲ開ク山生ノモノハ三月ニ花ヲ開クニユル故ニ遠
和列大峯ノ絶頂ニ大ナルアリ穂ノモチニ寸許白花ニシ
ク赤色ヲ帯フカホケケ水サ江ノ穂似タリ花終テ新葉ヲ生ス
冬生スル知枝似テ幅セバク長クナルコレ長ト奉ナリ時
根葉皆生ス名ニテ葉キタ、ズ根ハ老ヌナルハ一根ノ終ニ立ツ
一葉ニ一葉ニノ葉又葉ノ如シ根地質ノ形ニノ細ク知アリ
厚珠ノ如シ一年一年ノ楮板ニ根皮褐色ニメ黒ニアリ唐
ヨリ別ニ後ラス奉矣多ト混レ後ス可擇

玉孫

未詳一説ニ葉止多子ト稱スルモノヲ以テ充之一名延壽
尊養老尊延齡尊北方奇時圓ニツハアサヘテ今
種樹家ニテユレソウト云打里ニテユシソウト云叡山山列
木形アリ幽谷ニ生ス奉一本立ソノ末ニニ葉並ニ生リ
圓ノノ尖レリソノ中心ヨリ五分許ノ葉ニテ開花大カ
分許ニ辨ニ紫色ニメ中ニ青ニテアリ根ハ莖木似テ味
苦レ和列思ニ根ヲ生サ膏ノ傷ニニ供ス葉肆ニテ古ハ莖
木ニ偽ル又唐ノ柳葉蓋ニニ偽ル後世ニ効アリ

釋名中 早藕ハ玉孫ノ一名ニ非ス誤リテ一名トス早藕ハ
カタゴハツユリカタゴカタゴ古名カゴ省略 楮舌カタクカタゴユ

聖香子

可案

南部ヨリ関東
軌上ス又大和
宇佐ヨリ
脚ヨリニ軌上
ス

リカ、ユリ、江戸、カクハナ、佐、カククリ、敷山、タタ、アリ、車前
葉ノ形、ノ一根、唯二葉生ス、色白、淡紫、色ノ紋アリ、種
ノ斑點アリ、山生、四月、花ノ中ニ、茎立、花ヲ生ス、長サ五
寸許、徑一寸、五分、許、唯一花ノミ、之俯ノ開、百合ニ似タリ、淡
紫、色、ノ六瓣、細ノ長、シ、辨、末上ニ、翻ル、白花希、ヨリ根白、
葱白ニ似タリ、能州、辺ニ、テ、根ヲトリ、煮、饅メ、食、餘ス、者、割
スル、如、ノ餅トス、コレヲ、カ、タ、コ、饅ト云、之、國ニ、多ク、生ス、饅割ハ
越前ニ、割ス、初ハ、一根、一葉、之、コレハ、二葉、ニ、テ、ラ、サ、ハ、花ヲ生
セ、ス、之、大、サ、ニ、分、許、圓、ノ、ニ、稜、アリ、青、色、ノ、白、アリ、
牡紫、コレモ早藕ノ一
紫、ムラサキ、子、ムラサキ

又和称ノ瑞瑤
草ニ葉ニ似タリ
又紫色又落色
ノニ品アリ

一名 紫果 瑞瑤 紫莖 正字 瑞 草物 芝草 御茶
京師ニ自生、生、ナシ、大和河内ニコレヲ一時、二月、以、種ヲ下
テ、養フ、者、サ、二尺、許、メ、葉、早、蓮、葉、ノ、葉、ニ、似、テ、細、長、シ、枝
末、葉、間、コト、ニ、花、アリ、大、サ、ニ、分、許、メ、五、瓣、梅、花、ニ、似、タリ
色、白、シ、花、中、ニ、紫、深、ナシ、葉、細、長、シ、花、後、之、葉、ヲ、徒、フ、小、キ、一、分
許、形、圓、ク、メ、大、レリ、紅、花、子、ニ、似、リ、テ、小、之、奥、州、ノ、南、部、出
羽、ノ、最、上、伊、豫、ノ、大、洲、此、等、ハ、山、中、ニ、自、生、生、ナリ、里、人、登、山
テ、採、採、花、皆、日、向、テ、開、ク、ト、ナリ、故、朝、採、ニ、行、ハ、亦、ヨリ、行、
ク、レ、ハ、西、ヨリ、ス、根、及、紫、色、ニ、コ、ノ、皮、ヲ、トリ、皆、布、ノ、紫、色、ヲ
條、ニ、テ、不、鋪、ハ、其、薩、摩、南、部、ヲ、上、品、ト、ス、出、羽、ノ、最、上、品、禮、政、伊
豫、次、之、大、和、河、内、近、江、又、之、次、之、系、律、ニ、テ、上、品、ヲ、條、紫

カザロ差儀
大山小兒山花は
ノ絲ヲ束子鐘
テ髪ヲ束ヌル
形ヲナシ試トス
政ニ名ヲ

白頭公羽

家へ後シキヨリクスヲ紫根ト云テ匠人へ焦糖搗へシ
葉用ニ草ヲ用根頭嫩芽草ニタルヲ云用葉須知
ニハ初生ノ時四五寸ニナルヲ用ユト云へリ

ワハツキ 考行セカイソウ 子コクサ 葉前ノ十コハナ加
ゲシクヤナイタ加賀 口メバナ 櫻川 口ハカニラ 杉前 弁ゴノニ
カハラバナ 仙居 子ニコ口エ 子ニコ口 蘇中 ホルサライウ 紅毛

野大

事物 老翁 須 花 葉

敷山ノ下ニアリ 宿根ヨリ生ス 葉ニ花ス 山州白河山ノ
石防風ノ葉ニ似テ 又胡蘿蔔ノ葉ニ似テ 頗ル 粗ニ 茎葉正ニ
白ニ多クシ 一根ニ 数葉叢生ス 四月以 一尺許 茎立テ
末ニ 小葉抱茎ニツリ 形 目劔ノ 鐔ノ 如シ ソノ上ヨリニ 四

本ニ 分ルワカレシ 枝ノ末ヨリ 一花ツク 下ニ 垂メ 生ス 長サ 七八
分 幅ニ 分許リ 鈴鐺ノ 形ニ 似テ 十分ニ 不開 紫色ニ 赤色
ヲ帯フ 外 白テ ケテ 赤色ヲ 帯フニ 辨ス 又 口ニ 裏ルニ 徒テ
茎長ク 花立 花中ニ 黄蕊アリ 正中ニ 紫ノ 系アリ ソノ 圍
ニ 小ナル 葉ツク 葉ト 一処ニ 落テ 系ハカリニ メニ 寸許 圓ツク
系ガ 四方ヘ 垂シ 絲ハ 紫色ニ ナル 系ノ 室ルニ 一寸許リ 係
部スレニ 穂ノ 本ニ 寸久アリ 一分許ニ メ 尾キモノニ

白及

味 關 宜 独 活 條 系 云 示 サ 脉 宜 忌 忌 忌 忌 宜 七

山生ニシ白花 葉下 形長大ニ 種 樹 家ニテ コレヲ 蕙ト云 政ニ

如來

脇 耕

若蘭

本 草

朱蘭

花 鏡

花一名 或曰 白及

紫花ノモノヲ紫蕙ト云淡紅ヲウスケイト云蕙字ヲ
用ルハ誤ニ形状俗人ト報ニ懸知レリ故コニ辨セズ

佳木解 醫方通 コシ 扁々 耀 セ、見 ニ 亮 ツ ヘ シ

三七

一名 血見愁 一 匠 便。 蘇 詔 同 名 多 シ 一 ハ 西 存 見 細 目

和名未詳古ハ唐ヨリ来ル紫肆ニ持傳ルモノ問ニアリ
今絶テ来カス根竹節多ク似テ紫黑色ナリ

○佳木解中近傳一種子以下ハ今世上ニ云ニセテナリ
本外國ヨリ来ル慶長十六年金木林出羽守始テコレ
ヲ関東ニ献ス 見 政 事 録 小刺ニ似テ針ナシ初生ノトキハ紫ニ
花ハ ハ チ 紫色ノ小刺ノ如シ花ニ刺ナシ

○二十一証ヲ法ス故ニ名ク。俗ニリルニニセト稱スル者ハ
九蓋草ノリ

本草綱目釋說卷才二終

